

今日のトピック 米国のISM景況感指数（2016年4月）

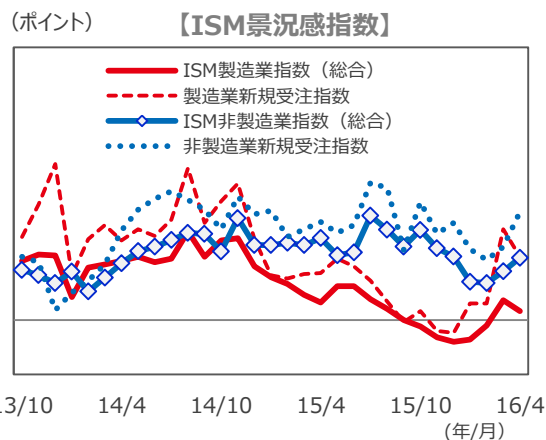
景気拡大のペースが再加速しつつあることを示唆

ポイント1 製造業指数は低下 ただし水準は50台を維持

- 2016年4月のISM製造業景況感指数は、総合指数が50.8ポイントとなりました。前月の51.8からは低下したものの、好不況の分岐点となる50ポイントは上回りました。
- 総合指数を構成する5指標のうち、需要の動向を表す新規受注指数は、前月との比較では低下しましたが、水準としては50台半ばを維持しました。需要が順調に拡大していることを示唆するものです。
- 生産指数も50台半ばの水準にあります。新規受注、在庫指数の動向と合わせて考えると、需要の増加により「意図せざる在庫の削減」が発生、それに対応するため生産を拡大しているようです。

ポイント2 非製造業指数は上昇 拡大のペースが再加速

- 一方、4月の非製造業景況感指数は前月比1.2ポイント上昇の55.7となりました。総合指数を構成する5指標のうち、新規受注、雇用、在庫の3指標が上昇しました。
- 総合指数は今年2月の53.4を当面の底として、再び上昇軌道に戻ってきました。非製造業の拡大ペースが再加速しつつあることを示唆するものです。



【ISM景況感指数】 (ポイント)

	製造業			非製造業	
	4月	前月比		4月	前月比
総合	50.8	▲1.0	総合	55.7	+1.2
新規受注	55.8	▲2.5	事業活動	58.8	▲1.0
生産	54.2	▲1.1	新規受注	59.9	+3.2
雇用	49.2	+1.1	雇用	53.0	+2.7
入荷遅延	49.1	▲1.1	入荷遅延	51.0	±0.0
在庫	45.5	▲1.5	在庫	54.0	+1.5

(注) 総合指数は、製造業が上記の5つの構成指数の平均、非製造業が上記のうち在庫指数を除く4つの構成指数の平均。
(出所) Datastreamのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 景気は再加速へ、株価はそれを織り込む展開となる見込み

- ISM景況感指数および、その構成指数は、今年1月～3月を境に米国の景気が拡大のペースを再加速させつつあることを示唆しています。雇用も順調に増加しているようです。
- 米国の株価は、史上最高値近傍の水準でもみ合う展開となっていますが、今後は米国景気の再加速、企業収益の増大を織り込む展開に移行すると予想されます。

ここもチェック! 2016年4月28日 米国の金融政策（2016年4月）
2016年4月13日 米国の債券市場（2016年4月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。